

## ① 清岡美知子さんへ

こんにちは。初めまして。私は今を生きるごく普通の高校生です。この度、清岡さんの東京大空襲での体験を読ませていただきました。そこで感じたことがあります。

まず、清岡さんの体験を読んで、父と姉を失ったショックで夢でうなされた、どうして助けられなかったのだろう、自分だけが助かってしまった、と心に傷を負った、という体験が一番印象に残りました。私はこの空襲を体験していないため何も言えません。しかし、自分だけが助かってしまったと心に傷を負ってしまう必要は無いのではと思います。事が起きたとき、自分の命を守るだけで精一杯なはずです。逃げることに必死なはずです。だから、そう思ってしまうのも無理はないですが、一人の命を助けられただけでも誇りに思っただけよいと思います。

清岡さんの体験を一通り読んで、清岡さんは、自分が思ったことはためらわずに発信すべきである、相手が間違っていると感じたら、きちんと意見を突き通すべきだと今の若者に伝えたいのではないかと考えました。国はこの空襲で、軍人には手厚く補償をしているのにも関わらず、民間人には謝罪も補償もしてくれない。これを受けて、清岡さんは裁判の原告になって訴え続けることを決意したのですよね。皆にもこれを伝えたいのではと考えました。

このような悲劇をもう二度と起こさないようにするためには、世界も政府も、私たちも、周りのことを考えながら行動を起こすべきだと思いました。当時の政府ももし事が起きた時の事を想像したら、一步踏みとどまれたのではと思いました。

以上のことから、私は平和にとって人と人との思いやりが大切だと考えます。普段の学校生活でも、家でも、人との関わりを意識して、これからも生活していきたいと思います。

2004 年生まれ、16 歳、東京純心女子高等学校 1 年

## ② 清岡美知子さんへ

はじめまして。私は以前清岡さんの「東京大空襲」についての証言を読み、お礼や感じたことを伝えたいと思い、こうして手紙を書いています。

清岡さん、この度は私たちに、空襲時の自分の体験や当時の様子を具体的に残していただき、ありがとうございました。きっと自分の心の中で留めておきたかったこと、思い出したくなかったこともあったのではないのでしょうか。

私は証言の中で出てきた「目の前で人々が倒れ焼け死んだ。」という表現が印象的です。町中が燃え、赤く染まっている様子を、想像はできても現実であった事実が受け入れられていない自分もいます。もし自分が清岡さんでその場にいたら、一瞬で変わり果てた近所と周りの人々の焦る声や叫び声で我を忘れ、逃げ遅れてあなたのように生きて助かっていないかもしれません。万が一助かったとしても、一緒に逃げていたはずの家族を目の前で失ったら、あなたのように今、強く生きることが難しいのではないかと想像しました。

証言を読み、「平和にとって必要なことは何か」と考えた時、私は自分の身は自分で守ることと相手を思う気持ちがあることだと思いつきました。一つ目の方は、自分の身にいつ危機的な状況が起きるか分からない、起きたとしても誰かが指示をしてくれるかすら分からない。だからこそ私たちは、避難経路を確認するなど、準備することが重要なのです。二つ目は、戦争中や戦後に身近な人を亡くしたとしても、その人のことをどれだけ思うことができるかということです。

もしあなたが今、「あなたの夢は何ですか」と聞かれたら何と答えますか。私は証言から清岡さんの目線で考えた結果、「私の夢はこの空襲を後世に伝えることと、被害者側への補償の面では未だ終わったものではないこと訴え続けること」であると考えました。この夢を、清岡さんの代わりに叶えるために生きていきます。

2003年生まれ、16歳、東京純心女子高等学校1年

### ③ 清岡美知子さんへ

こんにちは。清岡さんの証言を読ませて頂きました。戦争や空襲、戦時中の人々の暮らしについて、私は学校の授業やテレビなどで見たり聞いたりしたことがあります。しかし、清岡さんの証言を読み、今までとは違ったものを感じました。

私が清岡さんの証言を読んで、このように表現するのは失礼かもしれませんが、生々しさを感じました。戦時中に生きていた、東京大空襲などを生き延びた清岡さんだからこそ書くことが出来る本当のこと。それが清岡さんの証言を読んだ私に、生々しさというものを感じさせたのではないかと思います。

空襲というのはとても恐ろしいものだと思ってきました。空から燃えさかる火の塊が沢山落ちてきたら、私は生き延びる自信はありません。また体が炎にさらされたり、冬の冷たい川にはいたりして必死に耐えるなんて出来ないと思います。朝になって川から上がった後、そこらじゅう焼けてしまった死体だらけだったら、気を失ってしまうかもしれません。でも清岡さん、そして東京大空襲などを生き延びた人達は、このような体験をされてきたのですよね。この証言を読んだ後、私は今の安心して生活出来ている環境に、もっと感謝するようになりました。そして、戦争がないことがどれだけ良いことなのか、身をもって痛感しました。

今でも世界では争いをしている国があります。核兵器を所有している国もあります。戦争が起こす恐怖や一般市民への影響を、清岡さんの証言が教えてくれています。もう二度と戦争を起こしてはいけない。また戦争は今すぐやめるべきだと強く思います。

最後になりますが、私たちにこのような貴重な証言を残していただき、ありがとうございました。

2003年生まれ、16歳、東京純心女子高等学校1年

#### ④ 清岡美知子さんへ

私は戦争体験者の証言を読んで、空襲で家族二人を失ったにも関わらず、強く生きていたところが印象に残りました。また、家族を助けたかった気持ちが強かったことがわかりました。もし、私が同じ立場だったら、清岡美知子さんのように母を養えないし、生きていけないし、泣いてばかりいるだろうし、どんなことにも負けてしまうと思います。しかし、私も後悔はすると思います。それでも、助けられなかったことを悔やまないでほしいです。きっと、家族にはその想いが届いていると思うからです。

私が一番驚いたことは、国が民間人には何の謝罪も補償もせずに、我慢しろと言ったことです。家族や友人どころか、衣食住を失った人がほとんどで、苦しい経験をされたのだと思います。それなのに、国は何もしなかったなんて、そんなひどいことはないと思います。

私は今回、東京大空襲について調べ、どれほど悲惨なものだったのか知りました。だから、もう少し、理解のある国になって欲しいと願っています。そのためにまずは、このようなことがあったことを知る必要があると思います。そして、国民の声に耳を傾けてくれるような政治家を選ぶべきです。

きっと、このように、人に体験を話すのはとても辛かったと思います。それでも、私たちに伝えてくれたことに感謝しています。同じことになりますが、このようなことが二度と起きないように、もっと多くの人を知ることが大切だと思います。ただ共感したり、可哀想に思うだけでなく、行動し、未来に繋げていきます。そして、争いのない世の中になって欲しいです。また、私も清岡さんのように、大きな壁にぶつかっても乗り越えられるように強く生きていきます。

2003年生まれ、16歳、東京純心女子高等学校1年

⑤

はじめまして。私は清岡美知子さんの証言を読む前に、祖母から戦争の時船に乗っていた曾祖父のことを聞きました。曾祖父はとても優しい性格で好かれる人だったそうです。それなのに、国の争いのために行きたくもないところへ行行って戦い、最後には船が沈没して苦しみながら亡くなって行く運命しか無いのは辛かったろうなと思いました。曾祖父には会ったこともないのに、その話を聞いていると涙が出てきそうになりました。また、清岡さんのように他の誰かが自分の命を犠牲にしてまで助けてもらって自分だけが生き残っていたら、一生「あの時自分がちゃんと身を守っていたら」とか考えて立ち直れない気がします。だけど、清岡さんはその体験談をたくさんの方に伝えていて、思い出すのも辛いだろうにすごいと思いました。

小学生の時に、被爆体験を語ってくれた方は涙を流しながら話してくれたことを今でも覚えていて、戦争は絶対に起こしてはいけない、二度と同じ過ちを犯してはいけないとその時再確認させられました。私は今まで、広島・長崎の原子爆弾のことしか目が行かなかったけど、清岡さんの体験を聞いて原子爆弾は一瞬の出来事だけど、東京大空襲の時はおよそ二時間半の爆撃だったと知って長い間苦しまされていたんだと気づきました。話し合いで解決しないから国民を巻き込んで戦争をするというのは本当に間違っていると思いました。思い出の詰まった自分の街や学校が無くなってしまうのはあまりにも可哀想でなりません。

これから先、何が起こるか誰にも分からないけど、沢山の人が亡くなってしまうことだけはあって欲しくないと願っています。自分は周りの人を大切にしながら生活していこうと思います。

2003年生まれ、16歳、純心女子高等学校1年（長崎）

⑥

こんにちは。はじめまして。今回私は清岡さんの証言を読ませてもらいました。この証言で私が一番心に残ったのは、火が橋の中まで入ってきて家族で川に入って逃げて、翌日父と姉を川の中から見つけることができず、三日後に遺体を確認したことです。家族を探せなかったことが自分を責めているように感じました。私には母と弟がいます。もし、私が住んでいる町でこのようなことが起こり家族を失ったことを想像すると、私自身も自分を責めてしまうと思います。清岡さんがこのできごとを体験したとき、三月だったと書いてあったので川の中はとても寒かっただろうと思いました。

他にもこの証言を読んで、その時の「音」は覚えていないけど「臭い」は覚えていることにとっても驚きました。イワシを焼いたような臭いだったと書いてあり、戦争が終わってからもしばらくイワシを焼いて食べることができなかつたのは、その時を思い出すからだと思うと、一生残る心の傷になったのだと思いました。

私は清岡さんに質問したことが一つあります。清岡さんにとって「平和」「幸せ」とはどんなことですか？ 私にとっての「平和」は、喧嘩をしないことだと思っています。日本を代表するような人が争いをしたら国内外でデモが起こり、それがきっかけで亡くなる人も出てくるかもしれないかもしれません。また、その争いが世界中に発展していくような問題になるかもしれないからです。そして、私にとっての「幸せ」は、友達と毎日のように学校でおしゃべりをしたり、家族と過ごしたりすることです。私が思っている「平和」や「幸せ」は他の人でも感じるができると思います。しかし、清岡さんが戦争を危険したからこそ感じる「平和」や「幸せ」は特別なものだと思います。今回このような貴重な証言を読むことができるととても光栄でした。ありがとうございました。

2004年生まれ、16歳、純心女子高等学校1年（長崎）

⑦

私は清岡さんの証言を読み、もし自分が、東京大空襲が起きた日にその場にいたらと考えるととても恐ろしく怖くてたまりません。

私は清岡さんと一緒に両親と姉と私の四人家族です。だから私は証言を読んでいるときに、突然訪れた家族との別れの場面ではとても胸が痛かったです。まだ二十一歳という若さでお父さんとお姉さんを失い、身体の弱いお母さんを養っていかなければならないというとても大変な状況でもどんなことにも立ち向かっていかなければならないと覚悟を決めたのはすごいことだと思いました。もし自分だったら絶望の状況で生きる活力も無いだろうと思います。

毎日昼夜構わず空襲が酷く、毎晩のように警報が鳴り起こされ、清岡さんたち家族やその時代を生きていた人々は、一日一日が生きるか死ぬかという狭間で過ごしており、私は当たり前だと持っている日常の生活に感謝しなければならぬと改めて思いました。

家族がいること、住む場所があること、食べ物が食べられること、当たり前だと思っていること全てが昔の日本では当たり前では無かったことを清岡さんの証言を読んで分かりました。

清岡さんにとって、戦争体験についてお話しするのは家族のことを思い出して辛くて悲しくて助けてあげられなかったのが悔しくて、また、東京大空襲を思い出して怖かったと思います。しかし、そこまでして私たち若い世代にこんな悲劇を二度と繰り返させないために証言をしてくださってありがとうございました。これからの日本がずっと平和であるように願い、証言をこれからの世代に伝えていけるよう努力します

2004年生まれ、16歳、純心女子高等学校1年（長崎）

⑧

私は清岡美知子さんの話を読みました。そこで、初めて東京大空襲について触れました。清岡さんの住んでいた浅草には一度観光で行ったことがあります。人力車で案内するお兄さんがいて、有名な雷門の先には仲見世通りがあり食べ物の良い香りがしました。そこで、人形焼きを買い、食べながら東京スカイツリーを眺め、すてきなところだなと思っていたことを覚えています。

ですが、一九四五年の当時は違いました。三月の寒い日の夜に東京の町を襲った東京大空襲です。私はまずこの東京大空襲の話を聞いて、気がついたところがあります。広島や長崎は一発の原子爆弾により町が破壊されたことに対し、東京大空襲は焼夷弾という原子爆弾より小さな爆弾をそこら中にたくさん落とし攻撃していたことです。焼夷弾により民家はあっという間に焼けます。人間が人間と苦しめ合う。それが戦争だと思いました。戦争により、大切な姉と父を失った清岡さんの立場に自分がいたら一生立ち直ることができずに泣いて一生を過ごすと思います。

「不思議なことに、その時の音の記憶が全くないんです。」と語る清岡さんから、一瞬の出来事に現実を受け止められなかったのかなと、それほど心も体も苦しめられていたのだろうと感じました。また、「自分だけが助かってという気持ちは今でもあります。」の言葉が一番印象に残りました。戦争で生き残ることは周りで死んでいった家族や仲間、近所にいた人たちを助けることができなかった自分に対し、なにかしらの罪を抱いているのだと思います。私はそんな思いをしている人にあなたは悪くないと伝えたいです。世界で起きている戦争はすべて人間の仕業です。人間によって起こされ、人間によって殺されていく。人は心という物を持っています。武力で解決するのではなく、心を通わせた害を理解し、解決していく。それが平和につながる第一歩だと思います。

2003 年生まれ、16 歳、純心女子高等学校 1 年（長崎）